



東俣野特別支援学校

電話 045-851-9631

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/ss/higashimatano/>

「学校が取り組めるSDGs」

副校長 大久保 彰浩

SDGs (Sustainable Development Goals の略) とは2015年(平成27年)9月の国連サミットで採択されたもので、国連に加盟している193か国が2016年(平成28年)から2030年(令和12年)の15年間で達成するために掲げた目標です。日本語では『持続可能な開発目標』と訳されています。

このSDGsには17の大きな目標と169のターゲットが掲げられています。ここでは一つひとつの説明は省略しますが、17の大きな目標の中には学校で取り組めるものがあります。

「4 質の高い教育をみんなに」 私たちは特別支援教育の専門性をもった教員集団です。教員一人ひとりの得意分野は異なっていますが、様々な視点から児童生徒の教育に関わっていくことができます。小学部・中学部・高等部の設置されている本校では、12年間を通して子どもたちの持てる力を伸ばし、生きる力を育むことができます。

「12 つくる責任つかう責任」 消費と生産についてのテーマですが、学校におけるSDGsを考えたとき、校内における使用済み物品の分別が当てはまると思います。再生可能な紙類、プラスチック容器やボトルキャップ、紙パックや段ボールなどの梱包容器の3R(リデュース・リユース・リサイクル)に取り組むことが該当します。

もうすでに取り組んでいて、成果として出ているものもありますが、ここに挙げたものは、ほんの一例です。もっと細かく見ていくと、いろいろと考えられると思います。学校で、家庭で、職場で、どんな方法でどんな取組ができるのかを仲間や家族でコミュニケーションを深める機会をもつのも良いですね。